

# 2007広島市政公開討論会マニフェスト

【～新たな広島市の創造の為に～】

5

氏名 柏 村 武 昭



## I 基本理念『広島市政の現状・目指すべき広島市の姿』

|        |                                                                                                                                                                                         |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (現状認識) | 今の広島市は元気を失っています。地域格差は拡大し、全国の地方自治体が凌ぎを削って来るべき未来に向かって方向転換している中、広島は明らかに遅れをとっています。州都についても対策をまったく講じておらず、役所の帳簿しか見ていない現状は今後の広島を衰退させるものです。財政非常事態宣言も解消できておらず、抜本的改革が必要と考えます。                      |
| (目指す姿) | 悪い行政の慣例や役所の帳簿があればよいという発想を転換させて、本来の広島市(民間)が持つ成長力を促進させる。行政はあくまでも”脇役”であり、”主役”である民間レベルでの実感を大切にする行政を目指します。当然、財政再建団体にならないよう、官から民への行政シフトし非常事態を沈静化させ、”予算を付ける行政”から”知恵を出す行政”を目指し、市民が実感できる広島市にします。 |

## II 短期で行う重要施策(1年以内) ※優先順に3つ

|                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 財政と民間経済を同時に活性化                                                                               |
| これ以上地方格差を拡大させる訳にはいきません。役所の帳簿のみが健全になっても意味がありません。大型プロジェクトには公平な入札制度を適用し、国、県との連携を強化した上で民間参入を促進します。 |
| ② 第三セクター事業の見直し                                                                                 |
| 過去の行政の失敗を放置して、同様の第三セクター計画で事業推進してはならない。今後のプロジェクト入札を促進するためにも過去の失敗を分析する必要があります。                   |
| ③ 多選制限条例の制定                                                                                    |
| 首長権限は大きく、多選弊害を取り除き任期中の職務を全うするためにも当然必要です。                                                       |

## III 中期で行う重要施策(4年以内) ※優先順に3つ

|                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------|
| ① 幼児教育の強化                                                                  |
| 少子化問題緩和のためにも親のライフスタイルに合わせた保育行政サービスの充実は不可欠。                                 |
| ② 民間参加型行政における行政評価の改定                                                       |
| 失敗を認めない行政体質・文化を打破しなければ、本当の行革はできない。                                         |
| ③ (仮称)1000地区制度の制定                                                          |
| 広島市の地域振興を助成しての最前線として祭りや亥の子行事を大切にし、高齢者の知恵や経験を受け継ぐ次世代教育や防犯・防災の点で大きな効果が期待できる。 |

## IV 長期で行う重要施策 ※優先順に3つ

|                                                                                 |
|---------------------------------------------------------------------------------|
| ① 心の平和都市創り                                                                      |
| 原爆の悲惨さも伝え残していく事と同時に草木も生えないと言われた広島をここまで復興させたすばらしさ、平和のすばらしさも伝えていかなければならない。        |
| ② コンパクトシティーの導入                                                                  |
| 郊外へ散漫に開発する時代は終わっている。効率のよい行政のあり方、街づくりを検討し、中長期的視野をもって都市計画を国、県、隣接都市との連携を重視して進めていく。 |
| ③ アクセス機能の整備                                                                     |
| 立ち遅れている交通網の整備が必要。途切れ途切れの交通はこれまで計画的に行われたインフラが無駄になっている。LRT等のコストの安い交通手段の検討も必要です。   |

## 広島市長選挙 立候補予定者プロフィール

お名前 柏村 武昭（かしむら たけあき）

テレビキャスターを30年以上務め、色々な経験をしました。マスコミの怖さや一方的なものの見方による危険性を重ねるごとに感じました。

そして約6年前、政治の道を志し、広島県選出の参議院議員としてがんばりました。広島を離れて暮らして今まで見えなかった広島が見えてくるようになりました。

5年あまりの政治活動で学んだことを生かしたいと考えています。